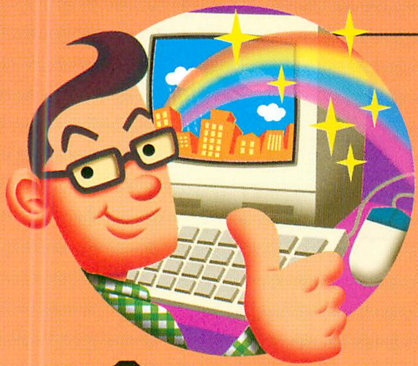
1 WEEK MASTER 6th DAY !!!

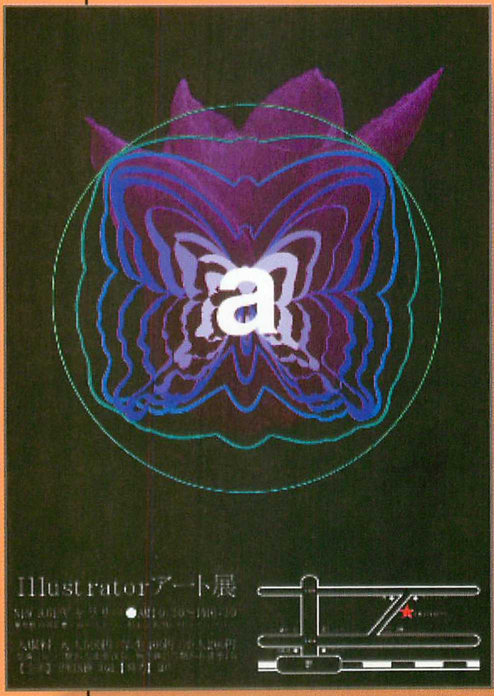
Saturday



今日マスターすること

TODAY'S GOAL !!!

「ちらしを作ろう（3）完成編
ちらしのレイアウトをする」



STEP 1 ●・・（文章を入れる

STEP 2 ●・・（地図を配置してちらしの完成！

1 WEEK MASTER 6th DAY !!!
Saturday

STEP 1 文章を入れる

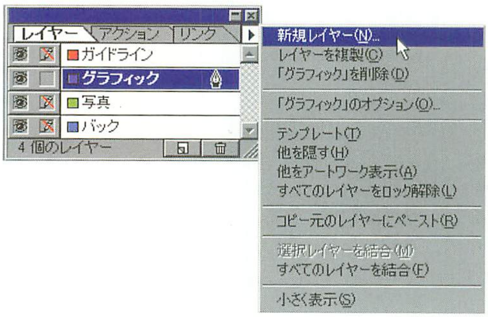
文章を入力する

今日はちらしに文字と地図を入れて完成させます。最初にちらしの左下にイベント案内の文章を入力して、見栄えを整えていきます。

金曜日に保存したチラシを開きます。

レイヤーを作る

文章を入れるためのレイヤーを作成しましょう。



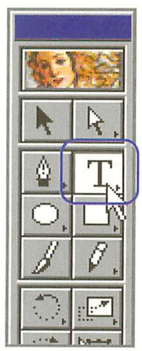
1 レイヤーパレットの「グラフィック」レイヤーを選択した状態で、パレットメニューから「新規レイヤー」を選択します。



2 「レイヤーオプション」ダイアログボックスで「名前」を「文字」とします。



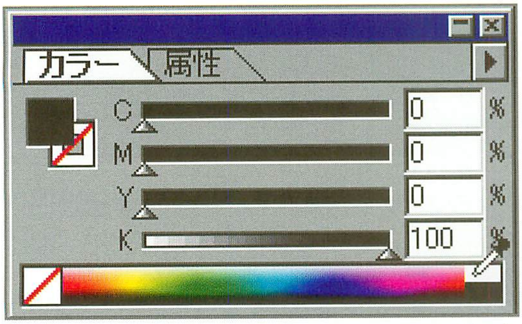
3 「文字」レイヤーができあがりました。「文字」レイヤーを選択します。



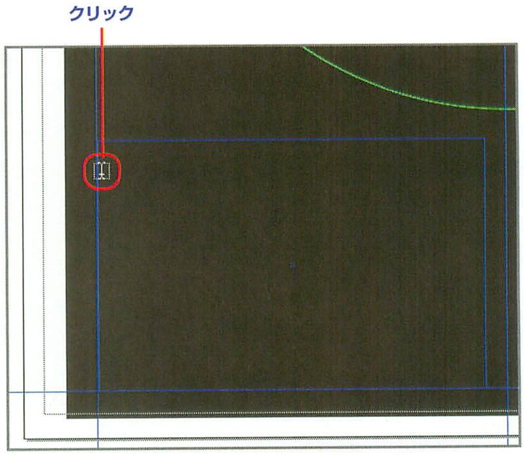
4 ツールボックスから文字ツールを選択してください。

文字を入力する

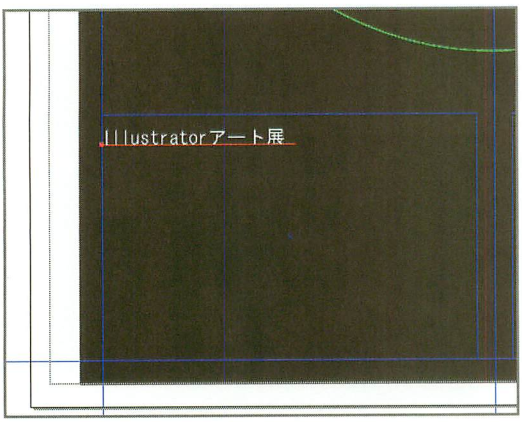
文字ツールで必要な文章を入力します。



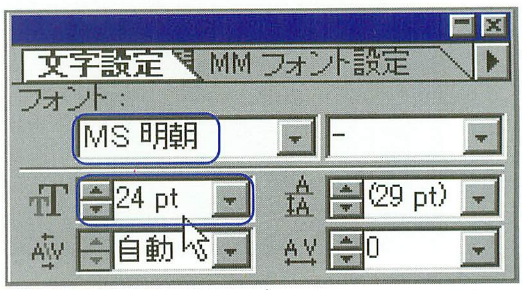
5 カラーパレットで塗りを「白」に設定します。線の色は「なし」にしておきます。



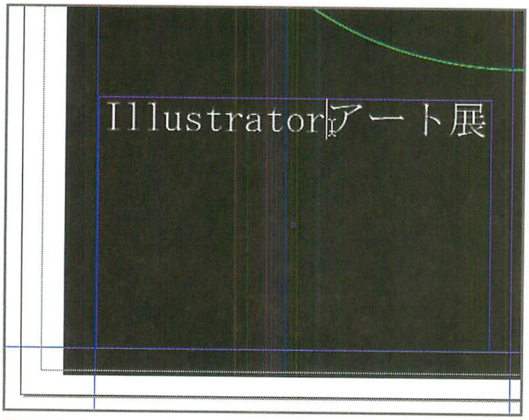
6 文字ツールで、左下のボックスの中をクリックします。



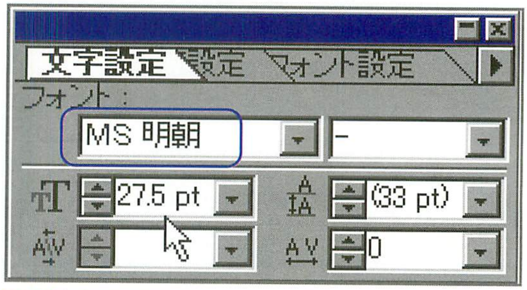
7 「Illustratorアート展」と入力してください。入力した文字を選択ツールでクリックし、選択状態にしておきます。



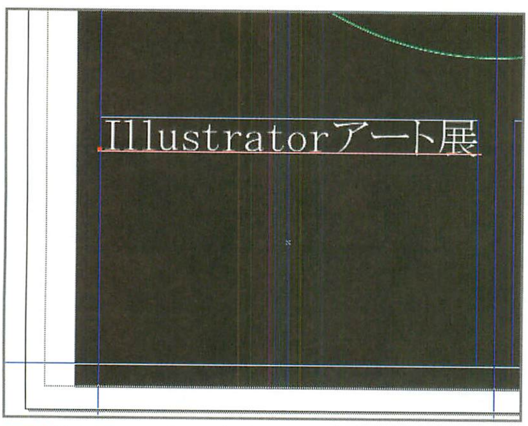
8 文字設定パレットで、「フォント」を「MS明朝」に、「サイズ」を「24pt」にします。違うフォントを使っても構いませんが、フォントによって大きさが多少違いますので、サイズも各自で調整してください。



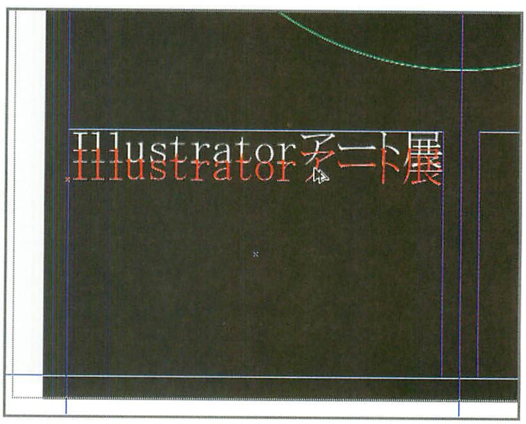
9 文字のサイズは枠の横幅いっぱいに広がるくらい大きくしてください。文字間隔の調整は、文字ツールでその部分をクリックして、カーニング調整をします。文字設定パレットの「カーニング」で設定してもいいのですが、ここではショートカットを使ってみましょう。Ctrl＋Shiftキー＋「[」を押すと、文字間が詰まります。



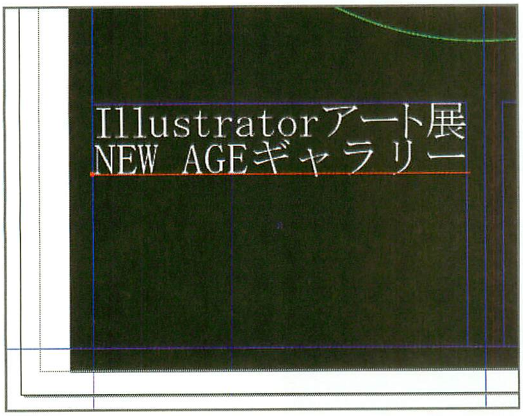
10 文字間隔を調整したら、幅に余裕が出てしまいました。サイズを少し上げてみてください。



11 枠の幅いっぱいに広がった状態に文字サイズを調整します。



12 文字を選択してAltキーとShiftキーを押しながらドラッグしてコピーします。



13 コピーした文字列を文字ツールでドラッグして選択し、「NEW AGE ギャラリー」と書き換えます。

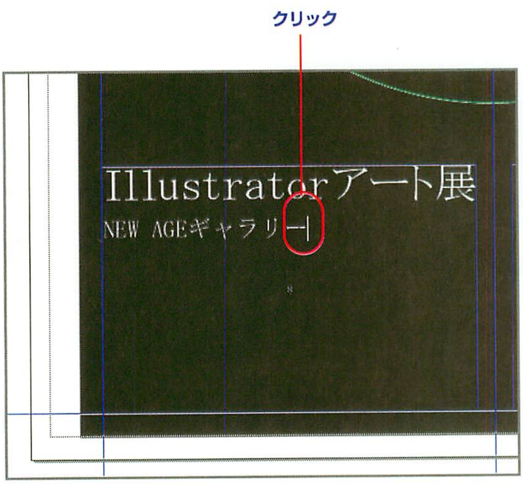


14 「NEW AGE ギャラリー」という文字列を選択ツールで選び、文字設定パレットで「サイズ」を「15pt」にします。フォントが違う場合、必要なら各自で多少調整してください。

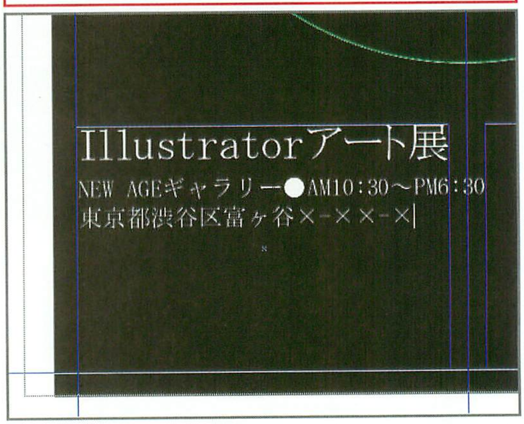
☞ヒント!!

●と×

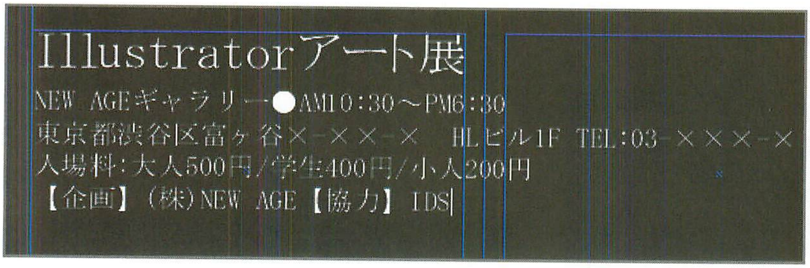
●とか×は、日本語入力ソフトによって多少ことなりますが、「まる」、「ばつ」と入力してスペースバーを押して変換することができます。また、鉛筆メニューの「文字パレット」などの記号表を使うこともできます。



15 「NEW AGE ギャラリー」の部分が小さくなりました。この後ろに続けて文字を入力していきましょう。文字ツールで、「NEW AGE ギャラリー」の後ろをクリックしてください。



16 「●AM10:00～PM6:30」と入力し、ここでEnterキーを押して改行します。次の行に「東京都渋谷区富ヶ谷×-××-×」と入力します。



17 続けて図のように入力します。「入場料」以降、必要な部分に改行を入れながら入力してください。



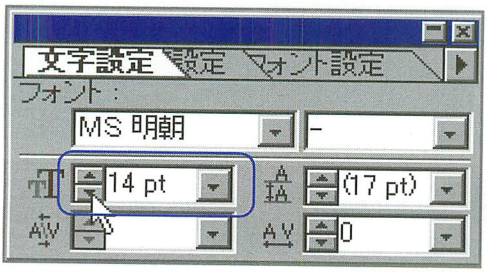
18 テキストの入力が終わりました。

文字の調整

文字間隔や行送りの調整をして読みやすくします。



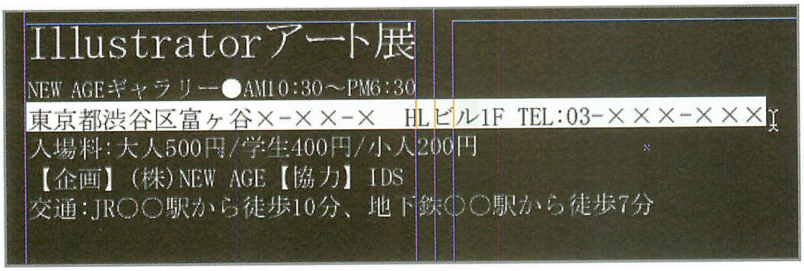
19 上から2行目の「NEW AGEギャラリー●AM10:00～PM6:30」を選択します。



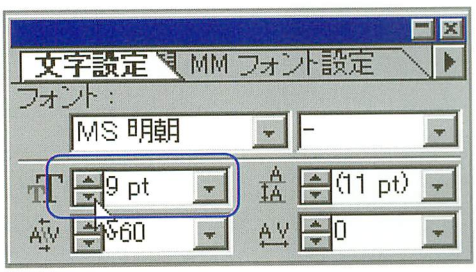
20 文字設定パレットで「サイズ」を調整し、横幅を上の行とそろえます。直接数値を入力するか、上下の三角マークをクリックするなどして調整してください。



21「Illustratorアート展」と幅が合うように、サイズを落としてください。



22 3行目の「東京都渋谷区…」を文字ツールでドラッグして選択します。



23 文字設定パレットで「サイズ」を小さくします。



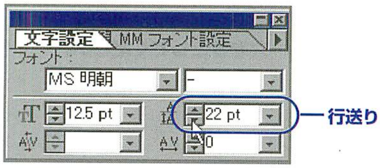
24 やはり横幅が合うようにサイズを落としてください。

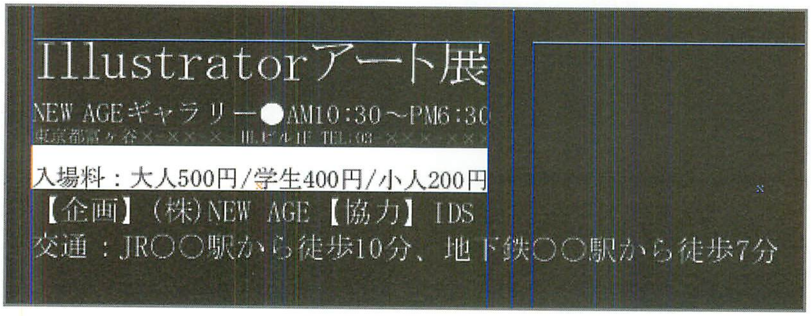
☞ヒント!!

行間と行送り

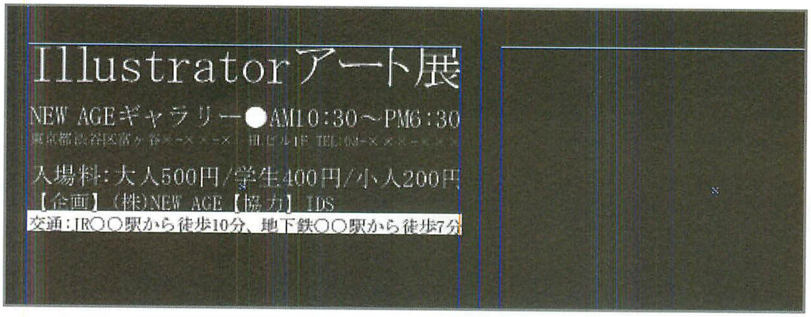
行間と行送りは意味が違います。Illustratorでは行送りで指定を行います。たとえばフォントサイズが40ptで行送りが50ptの場合、行間は10ptとなるわけです。



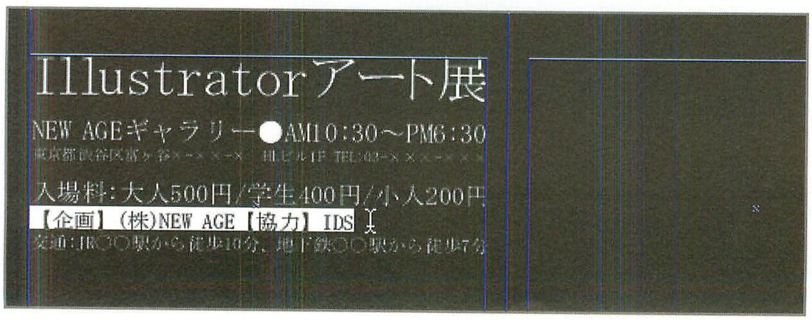




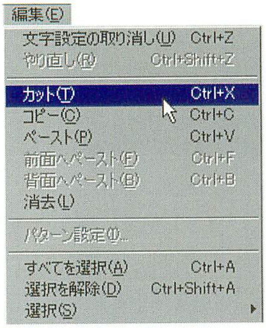
25 「入場料…」の行を文字ツールで選択し、横幅が合うように文字を小さくします。また、行間を少し空けましょう。ここでは文字設定パレットで行送りを「22pt」にしています。



26 各自で自由にサイズを調整してください。完成サンプルが特別付録CD-ROMの金曜日フォルダにありますので、参考にしてください。



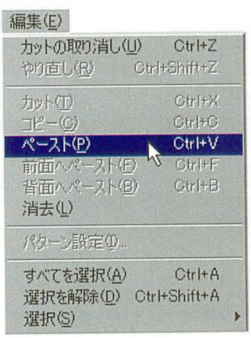
27 もし、文字列の順番を変更したいなら、「カット」＆「ペースト」を使って、文字を移動します。ここでは5行目を一番下の行へ持っていきます。



28 5行目を文字ツールでドラッグして選択し、「編集」メニューの「カット」を実行します。



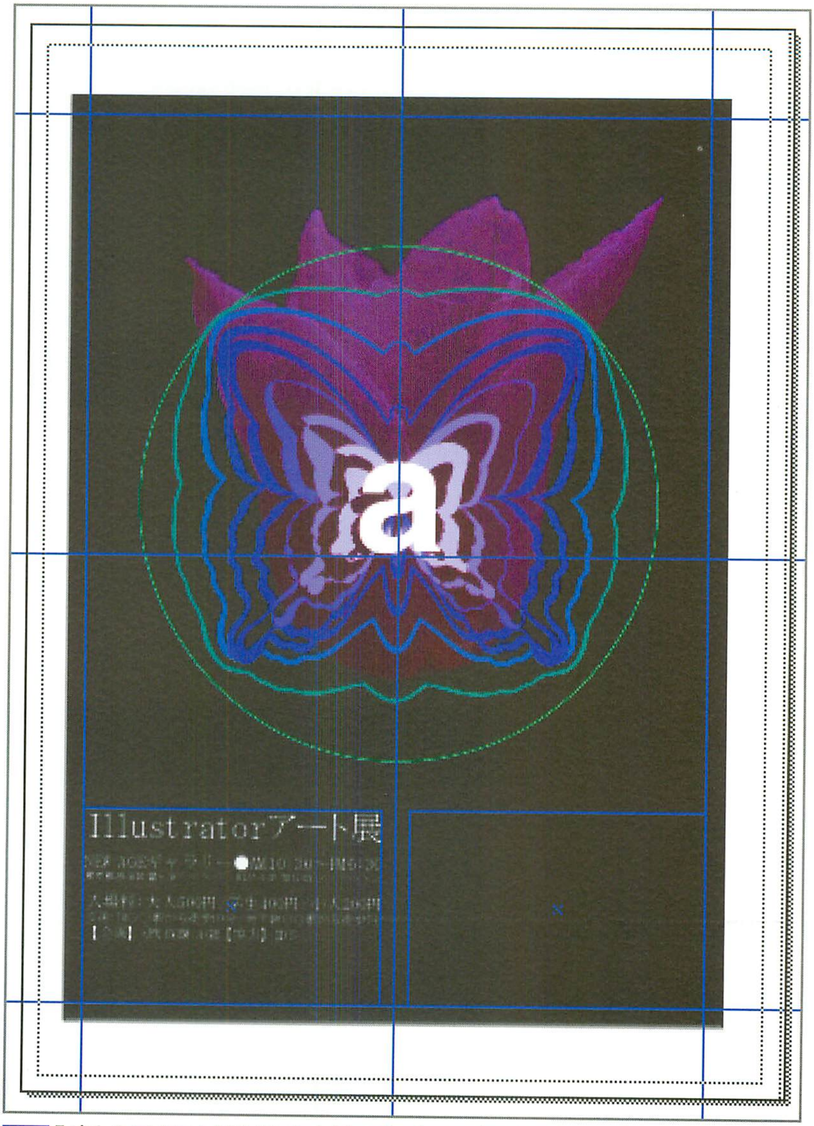
29 文字ツールで一番下の行をクリックします。キャレットが点滅するのを確認してください。



30 「編集」メニューから「ペースト」を選択します。



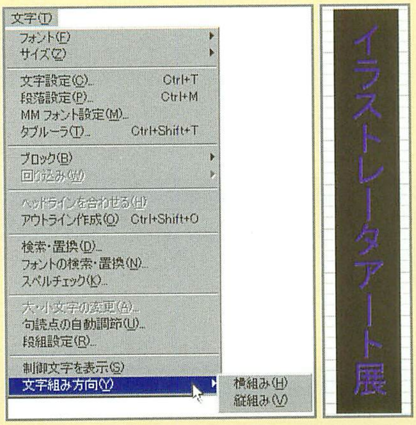
31 カットした文字が、一番下の行にペーストされました。



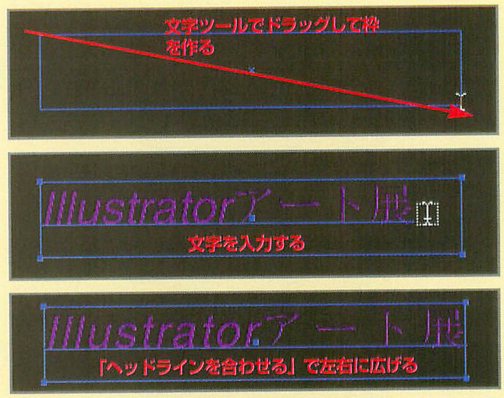
32 入力したテキストがきれいに左下のボックスの内に収まりました。これで完成です。ちょっと時間をかけて文字の編集をやりましたが、文字組みをきれいにすると、全体的な見映えが変わってきます。

ちょっとコラム　文字の応用テクニック

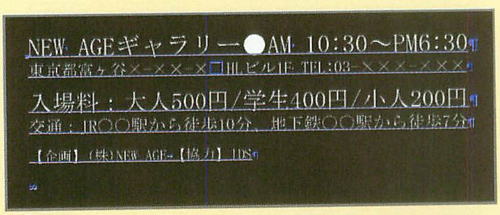
「文字」メニューには、さまざまな便利な機能が収められています。いくつか紹介しておきますので参考にしてください。



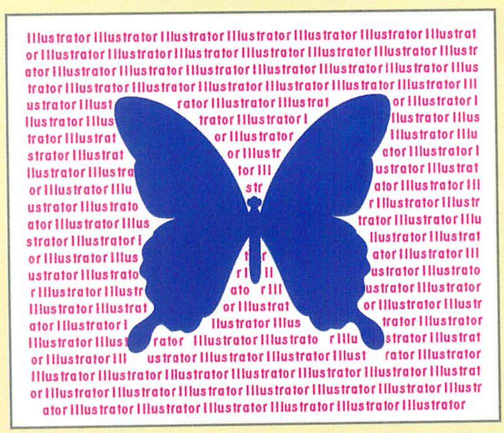
1 横書き、縦書きを変更するには、「文字」メニューの「文字組み方向」で切り替えます。ただし、ひとかたまりで入力してある文章の一部分だけを変更することはできません。全体が変更されてしまいます。



2 文字ツールで枠を作成してから文字を入力する方法もあります。こうしておくと、「文字」メニューの「ヘッドラインを合わせる」が使えます。これは枠の幅に合わせて文字の間隔を自動的に広げる機能です。



3 改行やスペースなどの記号を画面に表示してくれる機能があります。「文字」メニューの「制御文字を表示」です。逆P記号が改行（Enterキーを押したところ）を意味します。□は全角のスペース「.」は半角スペースです。



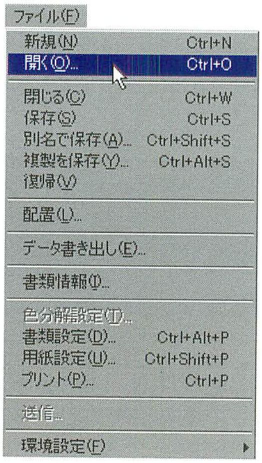
4 図形を文字の上に重ねたときに、文字がその図形をよけるように設定することもできます。ここではピンクの文字と蝶を選び、「文字」メニューの「回り込み」を実行しました。

1 WEEK MASTER 6th DAY !!!
Saturday

STEP 2

地図を配置してちらしの完成！

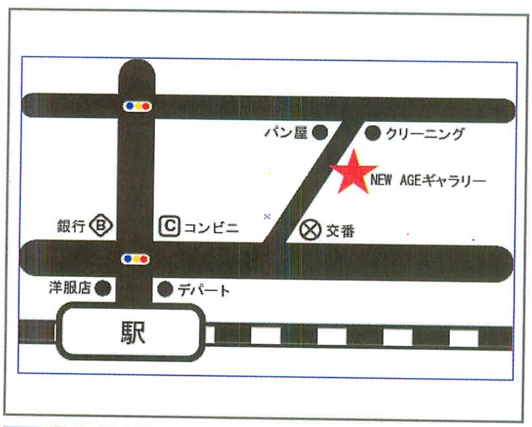
作成中のちらしの上へ地図を配置します。地図は金曜日に作成したものです。地図のファイルを開いておいてください。



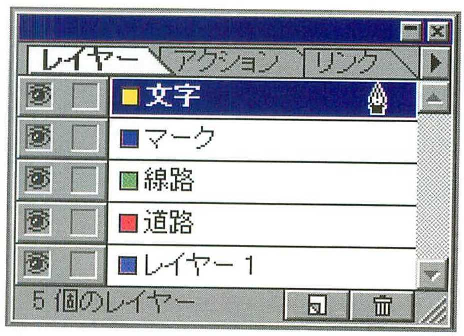
1 「ファイル」メニューから「開く」（Ctrlキー＋O）を選択します。



2 金曜日に作成した「地図」を開いてください。作成したデータが見つからない人は、特別付録CD-ROMの金曜日フォルダにも入っていますので、それを使ってください。



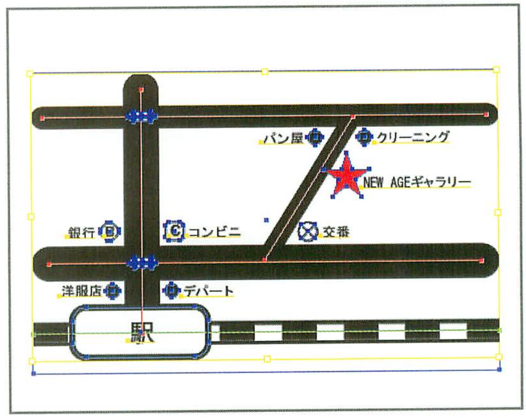
3 「地図」が開かれました。画面表示サイズが小さいようなら、各自でちょうどいい大きさに調整してください。



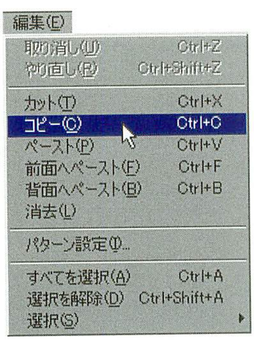
4 「レイヤー」パレットですべてのレイヤーにロックがかかっていない（鉛筆マークが表示されていない）ことを確認してください。



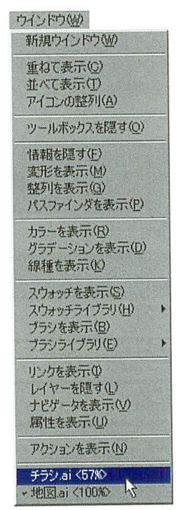
5 「地図」のウインドウで「編集」メニューの「すべてを選択」を選びます。これはぜひショートカットを使ってくださいね。Ctrlキー＋Aです。



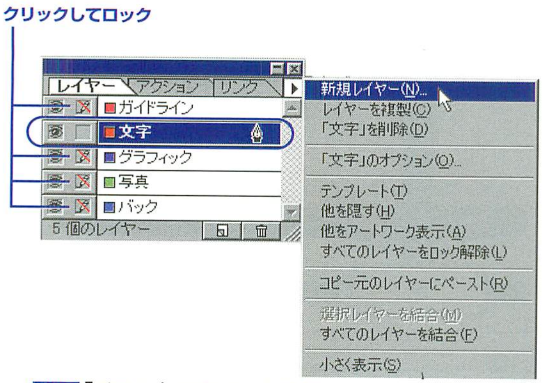
6 「地図」上のオブジェクトが、すべて選択されました。



7 「編集」メニューから「コピー」（Ctrlキー＋C）を選択します。



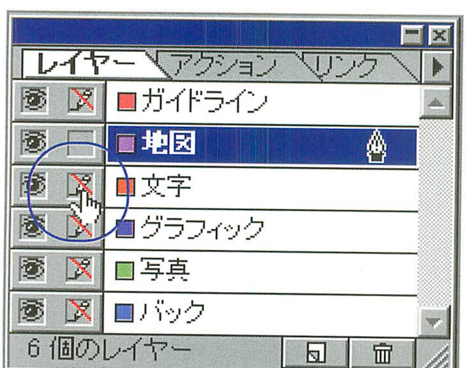
8 「ウインドウ」メニューで「チラシ.ai」を選びます。これで、後ろに隠れていたちらしのウインドウが前面に出てきます。



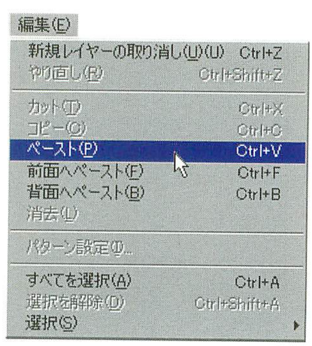
9 「チラシ」のウインドウで、レイヤーパレットから「文字」レイヤーを選択し、それ以外のレイヤーはロックの状態にします。そしてオプションメニューから「新規レイヤー」を選びます。



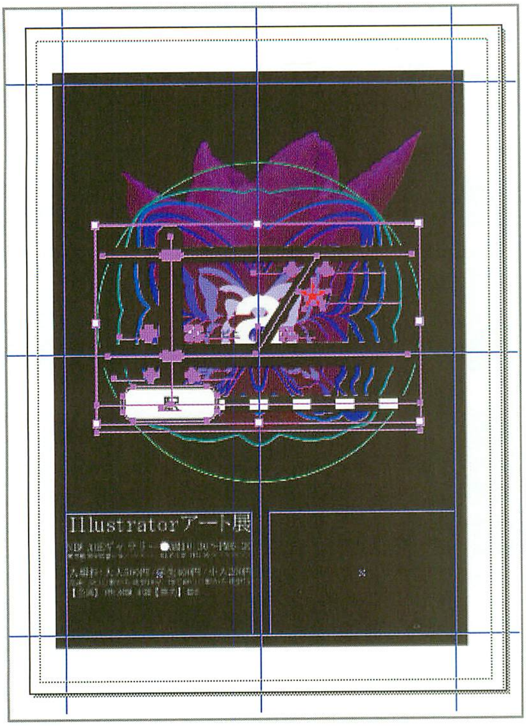
10 「レイヤーオプション」ダイアログボックスで「名前」に「地図」と入力します。



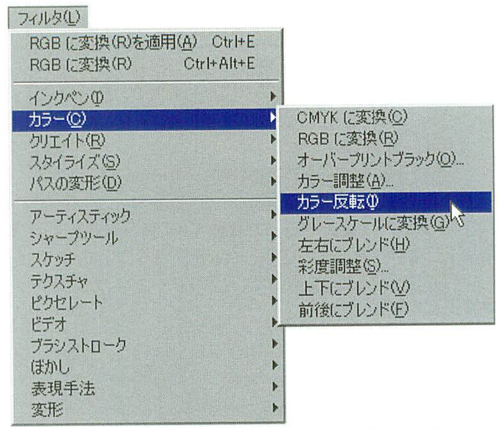
11 「地図」という名前の新しいレイヤーが「文字」レイヤーの上に作られました。「地図」レイヤーを選択して、「文字」レイヤーもロックします。



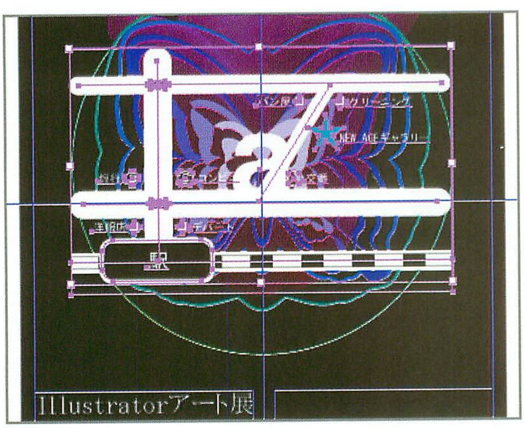
12 「編集」メニューから「ペースト」（Ctrlキー+V）を選択します。



13 先ほどコピーしていた地図が、ちらしの真ん中にペーストされました。まず、色を調整しましょう。



14 ここでは背景の写真が黒いため、地図がよく見えません。そこで、地図の色を白に反転させましょう。「フィルタ」メニューの「カラー」から「カラー反転」を選択します。



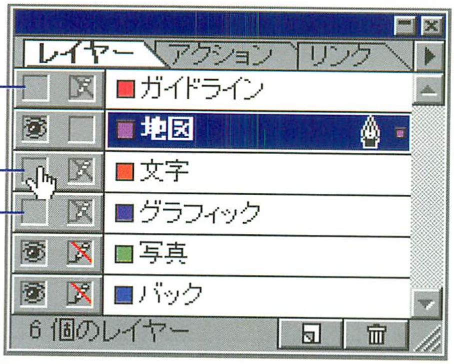
15 地図上のオブジェクトの色がすべて反転されました。ズームツールなどでその部分を囲んで、拡大して見てください。すべてのオブジェクトの色が反転されてしまったので、線路や信号はちょっと変な色になってしまいましたが、あとから調整します。

☞ヒント!!

ペーストされる位置

Illustratorでは、ペーストしたデータは画面の中央に配置されます。ちなみにIllustratorには3つの「ペースト」コマンドが用意されています。普通の「ペースト」のほかに「前面へペースト」と「背面へペースト」です。「前面へペースト」と「背面へペースト」は、コピーしたオリジナルのデータとまったく同じ位置にペーストしてくれます。選択されているオブジェクトがあれば、その前または後ろにペーストされます。「前面へペースト」は132ページでも説明しています。

クリックして非表示に

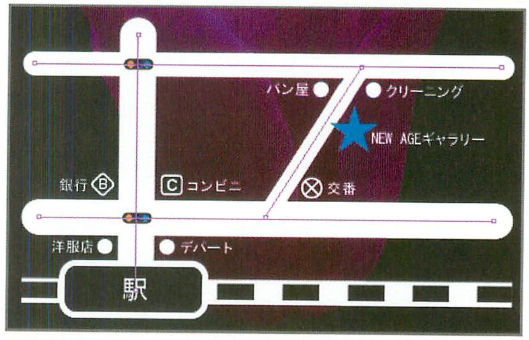


16 レイヤーパレットで「地図」レイヤーを選択します。「ガイドライン」「文字」「グラフィック」の各レイヤーはしばらく使いませんので、目のマークをクリックして非表示にします。

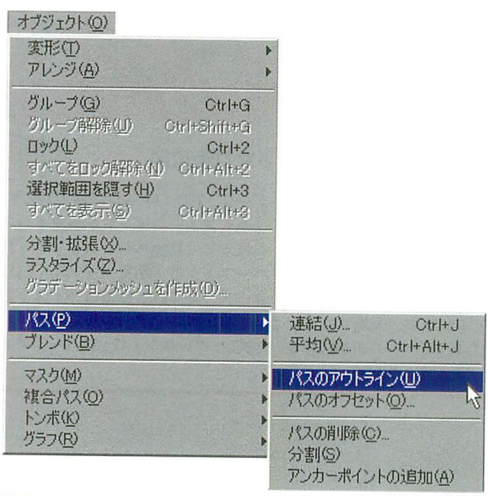
ヒント!!

線幅の広い線を選択するときの注意

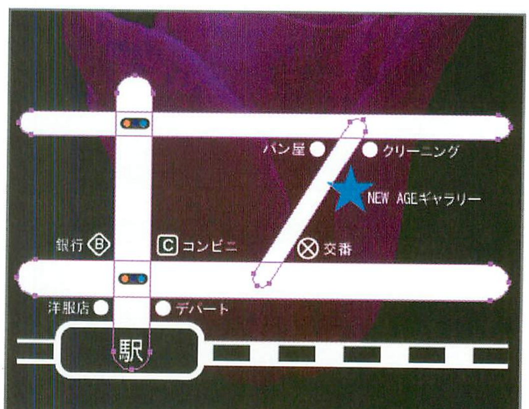
道路は直線で作っていましたので、線の中心をクリックしないと、うまく選択できません。



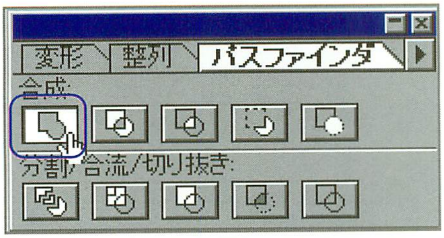
17 選択ツールで道路だけを選択してください。複数のオブジェクトを選択するときは、2つ目以降からはShiftキーを押しながらクリックします。



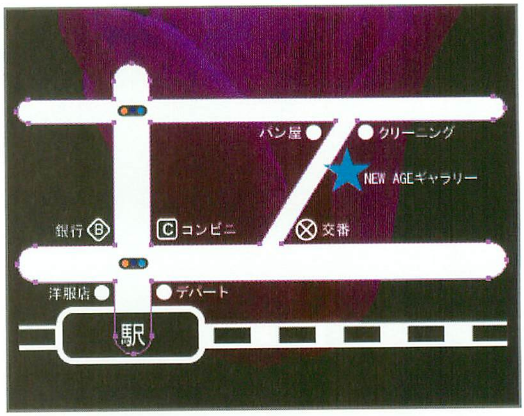
18 「オブジェクト」メニューの「パス」から「パスのアウトライン」を選択します。



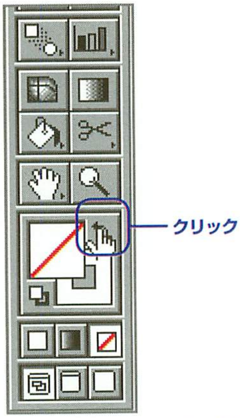
19 選択していた線がアウトライン化されて、図形の状態になりました。選択は解除しないでください。



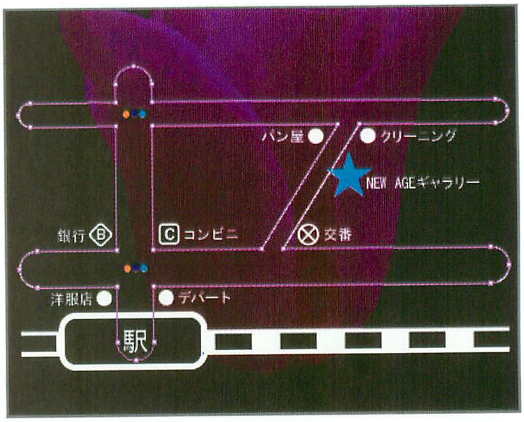
20 図形化された道路が選択されている状態で、パスファインダパレットの「合体」をクリックします。



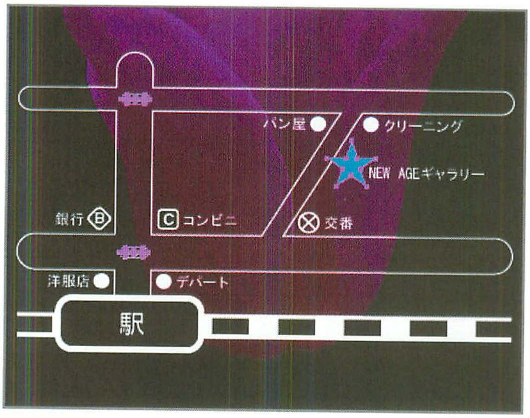
21 3つの道路がひとつの図形になったのがわかりますか？



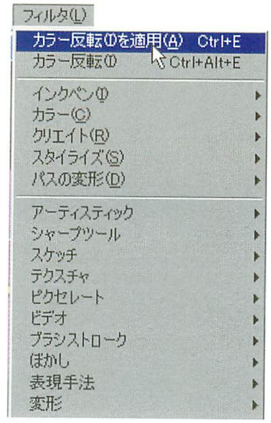
22 道路は枠線を白に、塗りを「なし」にしましょう。これはちょうど今と逆の状態です。そこで、ツールボックスの「塗りと線を入れ換え」アイコンをクリックして、色の入れ換えを行います。



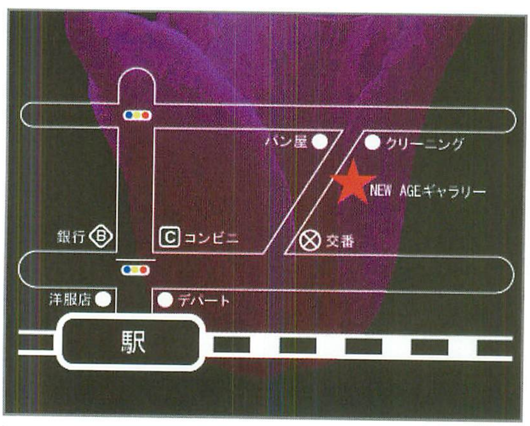
23 色が入れ換わって、線が白、塗りが「なし」になりました。



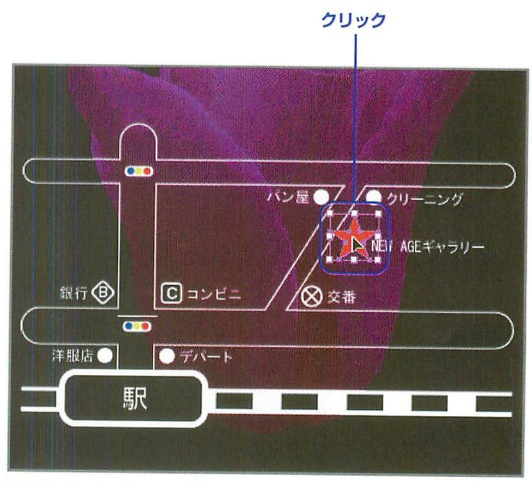
24 信号やギャラリーの星印は反転で色が変になってしまったので、元に戻しましょう。信号と星印を選択してください。複数のオブジェクトを選択するときは、2つ目以降をShiftキーを押しながらクリックします。



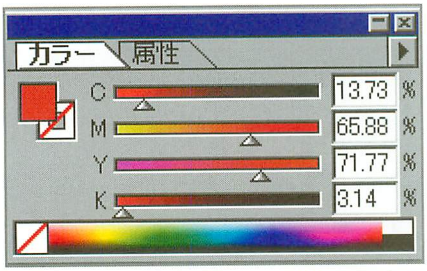
25 「フィルタ」メニューから「カラー反転を適用」を選択します。「フィルタ」メニューでは前回使ったコマンドがメニューの一番上に表示されていますから、それを選んでください。



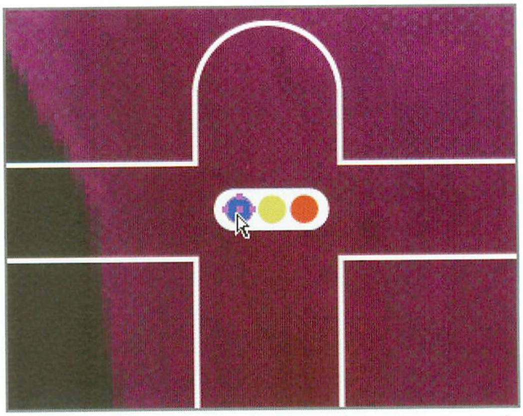
26 再度反転したので、元の色に戻ったはずです。が、ちょっと色が濁っているようです。



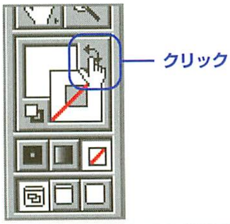
27 ギャラリーの星印を選択して、カラーパレットで色を確認してみましょう。

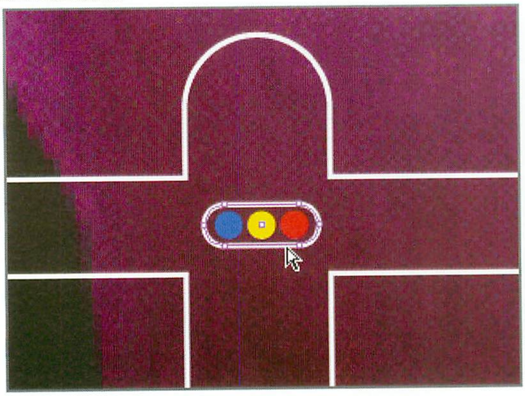


28 カラーパレットで確認すると、Cなども混ざっています。MとYを「100」%に、他は「0」%にしておいてください。

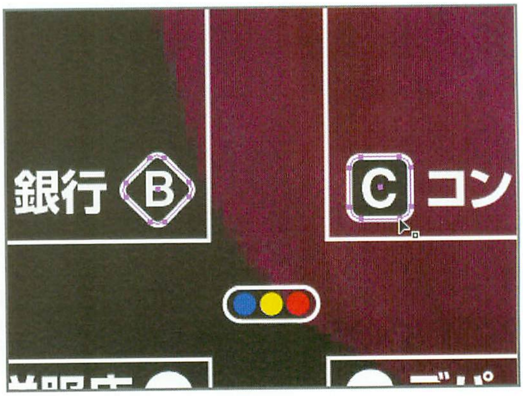


29 他の色も、調整しておきます。青はC「100」%、赤はM「50」%、黄色はY「100」%です。信号はグループにしていましたので、ひとつずつ選択するときはダイレクト選択ツールで選んで、色を調整してください。

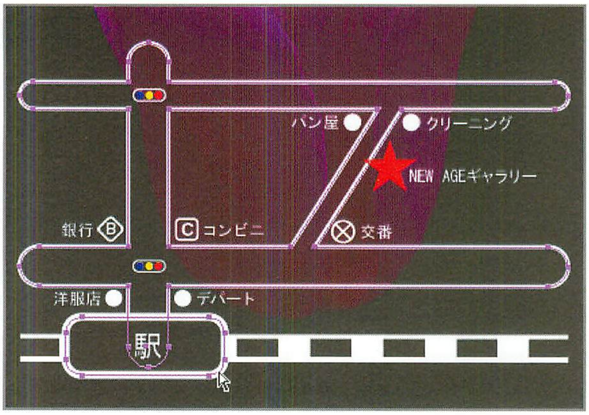




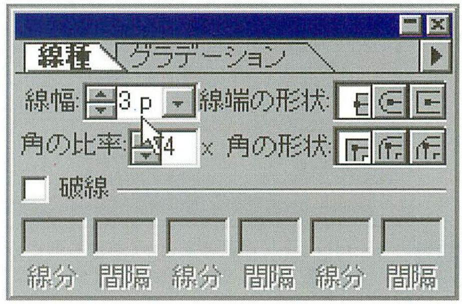
30 最後に信号の塗りを「なし」に、線は白にします。この場合もツールボックス下の「塗りと線を入れ換え」ボタンをクリックするのが楽です。



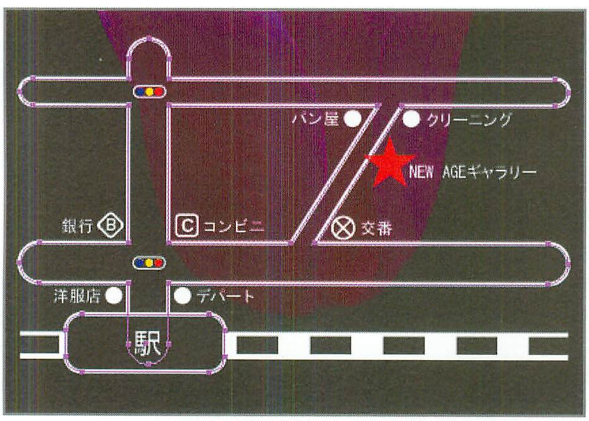
31 銀行とコンビニと交番のマークも選択して、同様に線を白、塗りを「なし」にしてください。



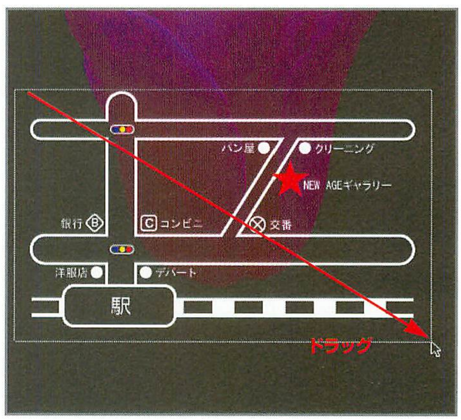
32 道路と駅の線幅を同じにしておきましょう。道路と駅を選択します。



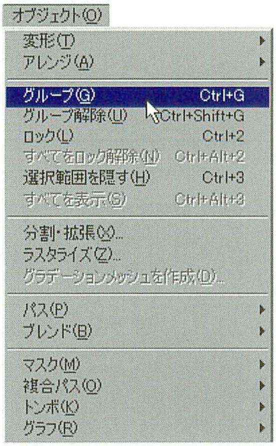
33 線種パレットで「線幅」を「3pt」にしてください。



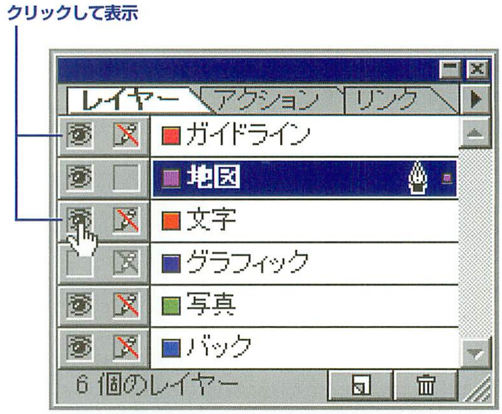
34 これで地図の加工は終了です。だいぶ見やすくなりました。



35 地図全体をドラッグして選択します。写真のレイヤーはロックしておいたので、ドラッグしても写真を選んでしまうことはありません。



36「オブジェクト」メニューから「グループ」（Ctrlキー＋G）を選び、地図全体をひとつにまとめておきます。



37レイヤーパレットで非表示にしておいた「文字」レイヤーと「ガイドライン」レイヤーの目のアイコンをクリックし、表示状態に戻してください。

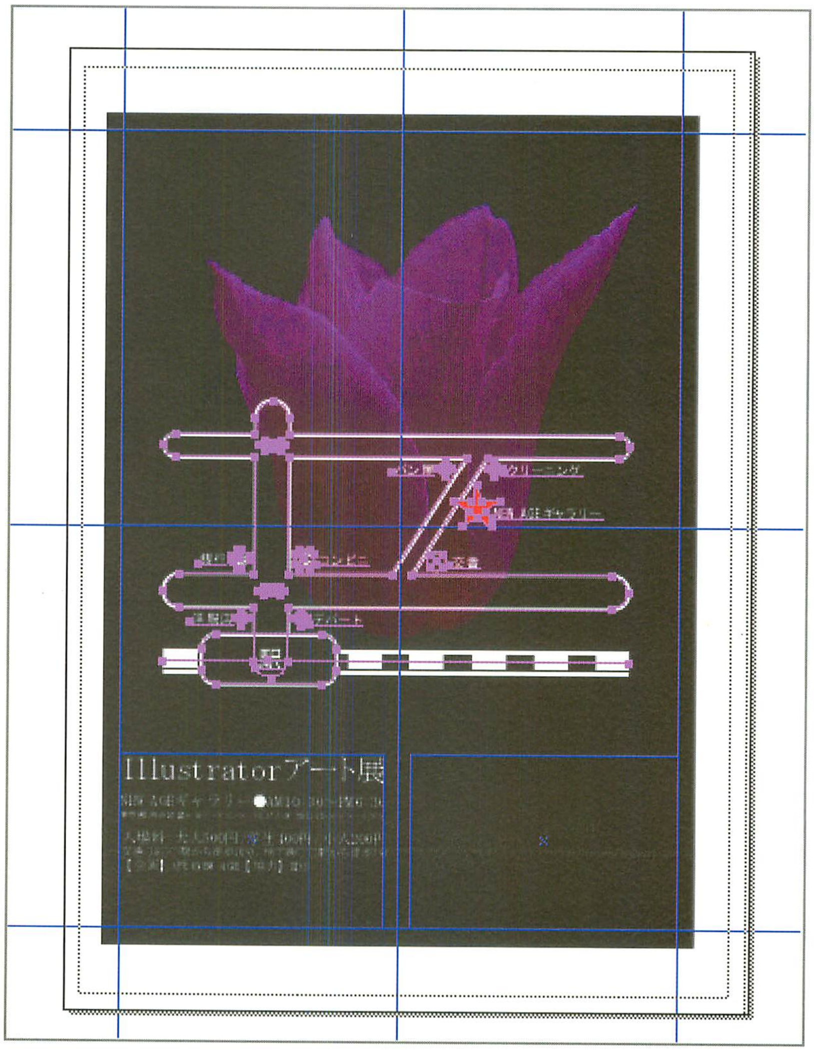
☞ヒント!!

全体表示にするには

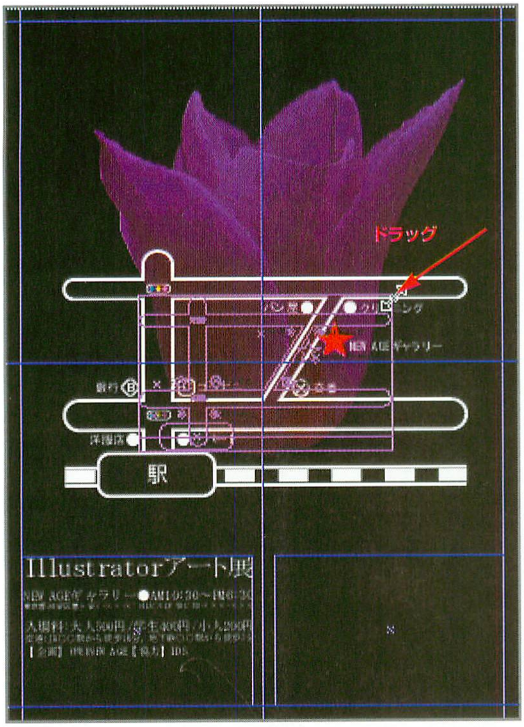
全体表示にするには、ツールボックスの手のひらツールをダブルクリックするのが一番簡単です。またはショートカットのCtrlキー＋0（ゼロ）を使ってください。ついでに実寸表示（100%）にするショートカットも紹介しましょう。ツールボックスのズームツールをダブルクリック、またはCtrlキー＋1です。

地図を配置

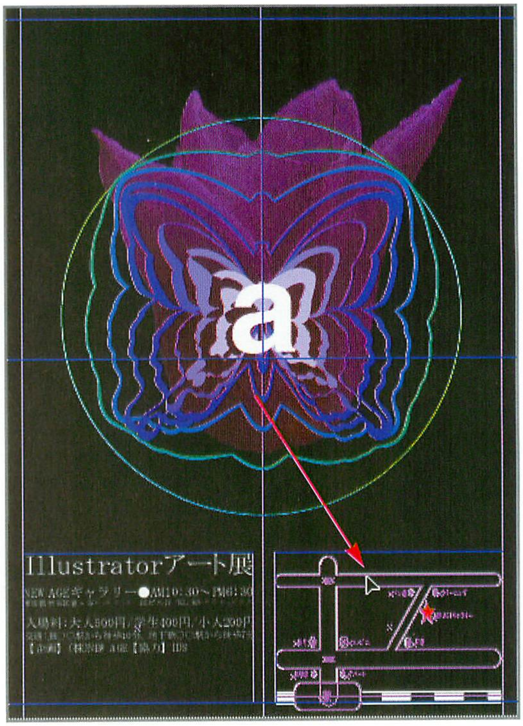
地図の調整が終わったら、ちらしの右下に配置しましょう。このとき、枠に合うように地図のサイズを調整します。



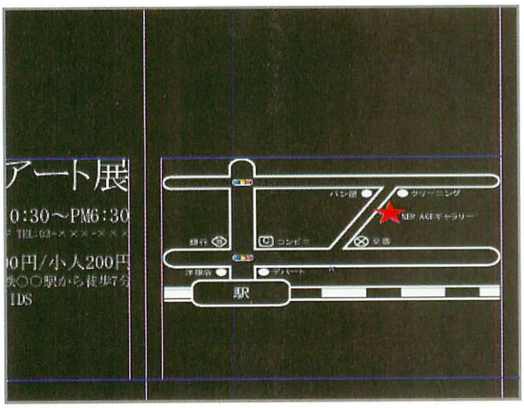
1 それでは、地図をちらしの右下に配置しましょう。全体を見るために、全体表示にします。図はすべてが表示された状態です。



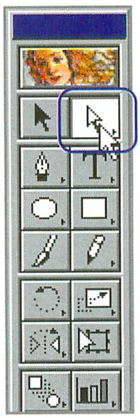
2 選択ツールで地図を選択し、バウンディングボックスを表示させせます。角のハンドルをShiftキーを押しながらドラッグして、右下の枠内に入るような大きさに縮小してください。



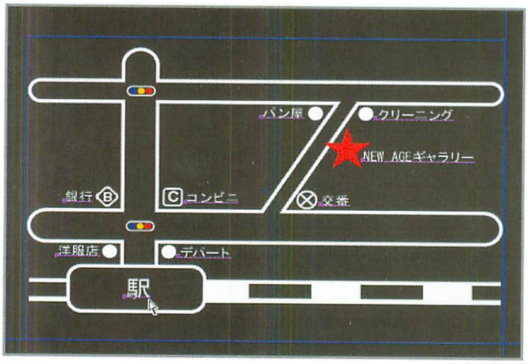
3 縮小できたら、地図のハンドル以外の部分をドラッグして、右下の枠内に配置します。



4 枠内にぴったり収まるように、サイズを調整してください。全体が横長になりました。文字はちょっと読みにくくなったので、元に戻すことにしましょう。

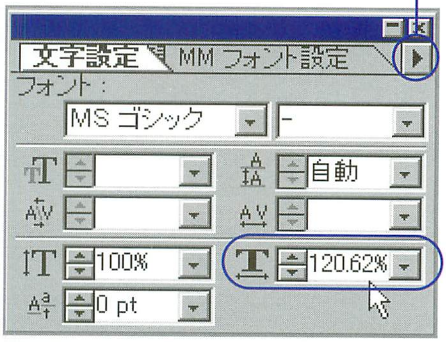


5 ツールボックスからダイレクト選択ツールを選択します。

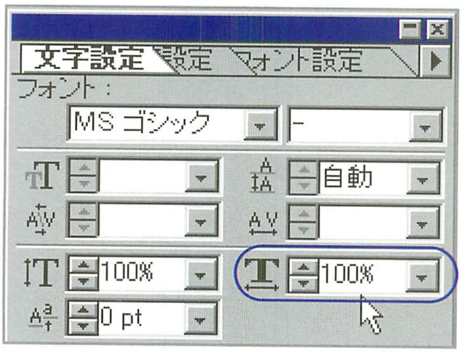


6 地図上のテキストだけを選択します。複数の文字を選択するときは、2つ目以降をShiftキーを押しながらクリックでしたよね。

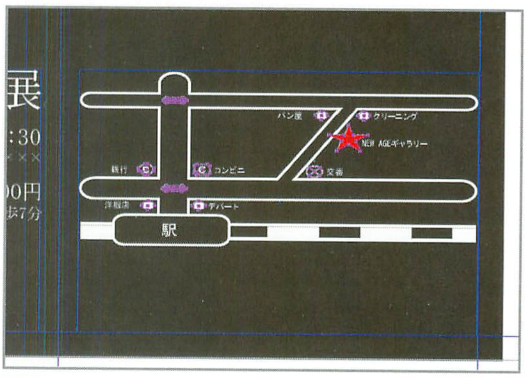
パレットメニューを表示



7 文字設定パレットを出します。文字パレットを表示させるには、「文字」メニューの「文字設定」でもよいですが、ショートカットのCtrlキー＋T（textのT）が便利です。▶をクリックして文字パレットのパレットメニューを表示し「オプションを表示」を選ぶと、文字の縦横比などを調節できるようになります。地図のサイズを小さくしたときに文字の比率が変わってしまいました。



8 「水平比率」を「100%」に設定します。地図のサイズを小さくしたときに文字の比率が変わってしまったのが、これで直ります。

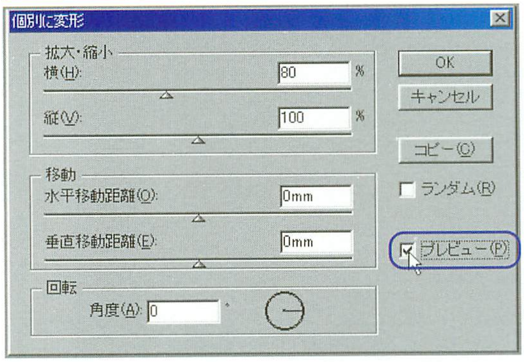


9 信号やマークなどもちょっと横長になっています。これも修正しましょう。修正するものを選択しておきます。

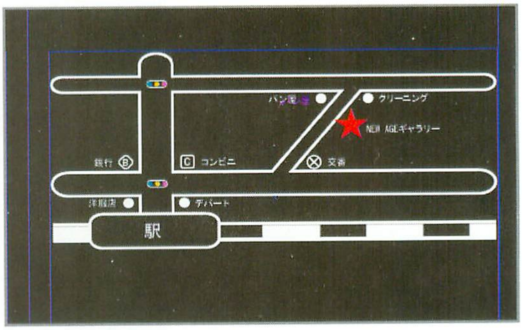
☞ヒント!!

「個別に変形」って？

ここでは「個別に変形」で拡大・縮小を行っています。「個別に変形」では、位置はそのままで変形してくれます。普通の拡大・縮小だと位置が変わってしまうので、この場合は向いていません。



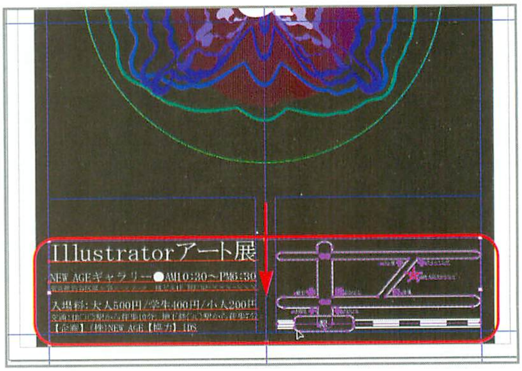
10 「オブジェクト」メニューの「変形」の「個別に変形」を選び、数値を指定します。プレビューにチェックを入れて画面の様子を見ながら、数値を指定します。



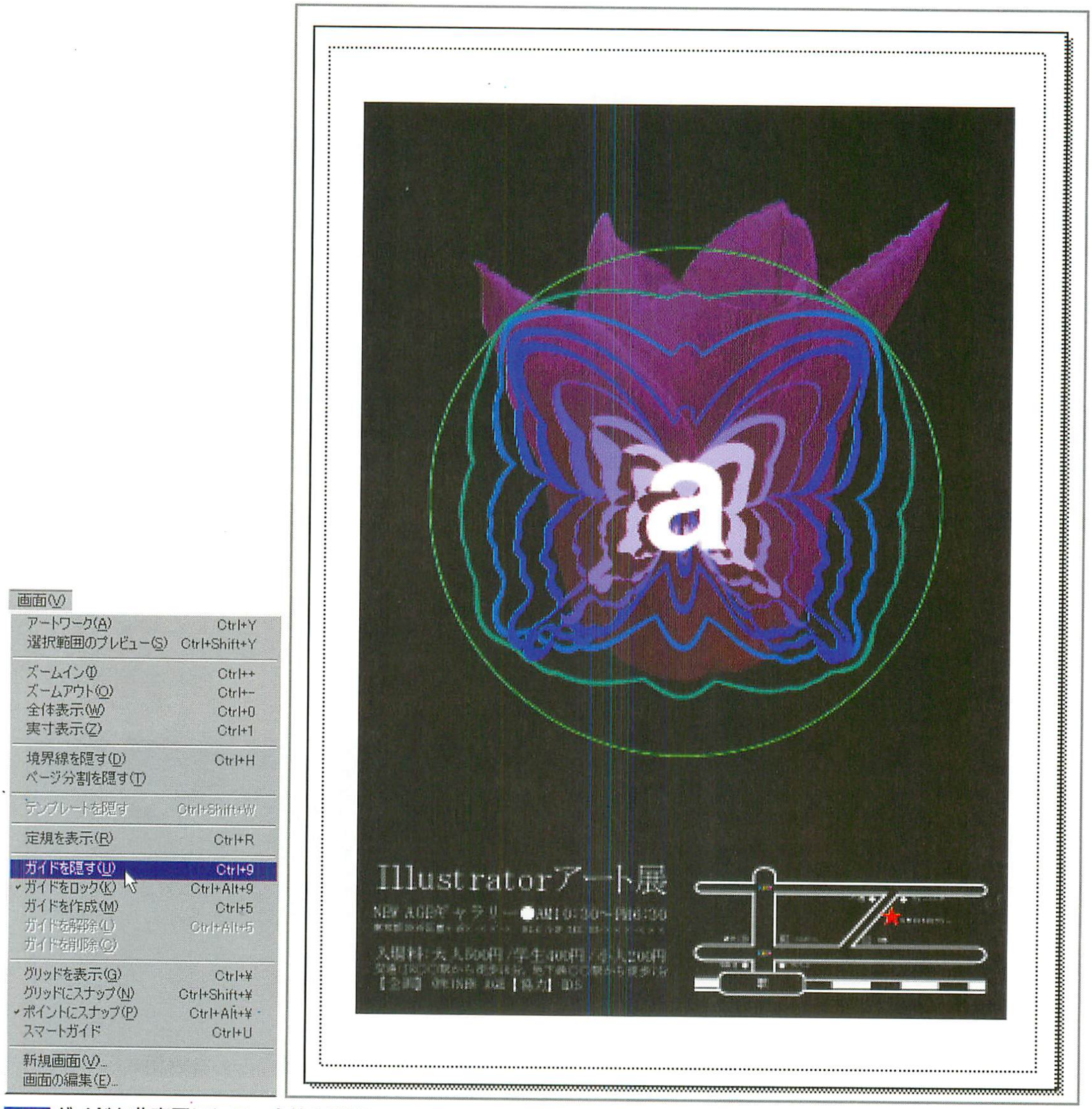
11 文字がずれている部分があれば調整してください。



12 次に文字と地図の位置を調整します。レイヤーパレットでこの2つのレイヤーだけを選択できるようにしますので、これ以外のレイヤーをロックしておきます。また「グラフィック」レイヤーは目のアイコンをクリックし、表示されるようにしておきましょう。



13 文字と地図の両方を選択して、枠の下の線に合うように下げます。



14 ガイドを非表示にして、全体を確認してみましょう。「画面」メニューから「ガイドを隠す」を選択します。これでガイドラインが消え、仕上がりの状態を確認することができます。

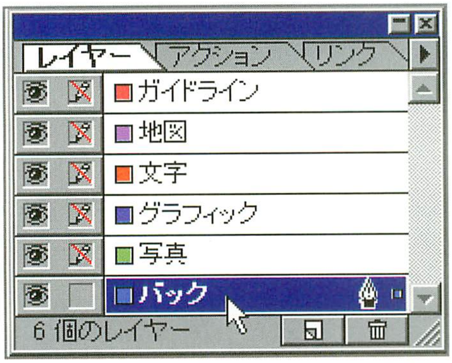
仕上げ

ちらしができあがったので、あとはトンボを入れて完成させます。トンボとは印刷するときの目安とするマークです。印刷所に回す場合には必要なものです。またバックに色がある場合は、印刷の断裁を考えて、実際の大きさよりも周りに3mm程度大きく背景を作っておくようにします。

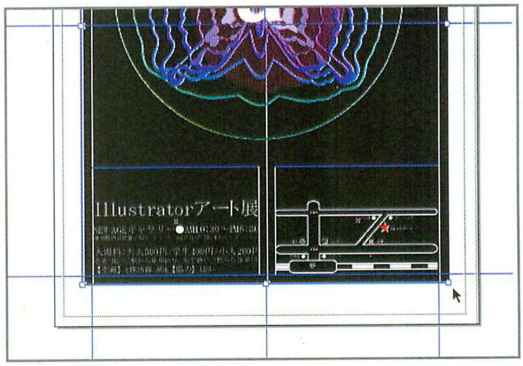
☞ヒント!!

トンボって何？

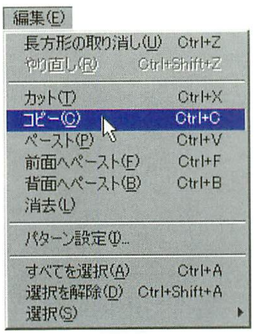
本章でもトンボは印刷するときの目安のマークと書きましたが、カラー印刷でプロセスカラーなどで分版出力する場合に、複数のフィルムを重ね合わせる目安にするためのものです。または裁断するときの目安にするものです。手持ちのプリンタで出力するような場合はトンボをつける必要はありません。



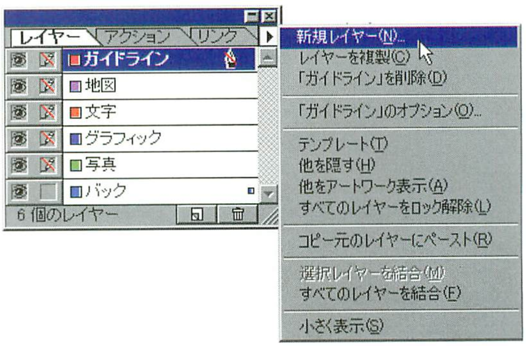
1 レイヤーパレットで「バック」レイヤーを選択し、鉛筆マークをクリックしてロックを外します。それ以外のレイヤーはロックしておきます。



2 バックの長方形を選択します。うまく選択できないときは、他のレイヤーの目のアイコンクリックし、非表示にして行ってください。



3 「編集」メニューから「コピー」(Ctrlキー＋C)を実行します。



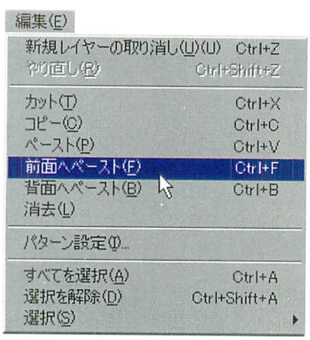
4 トンボ用のレイヤーを作成しましょう。「ガイドライン」レイヤーを選んでおいて、パレットメニューから「新規レイヤー」を選択します。



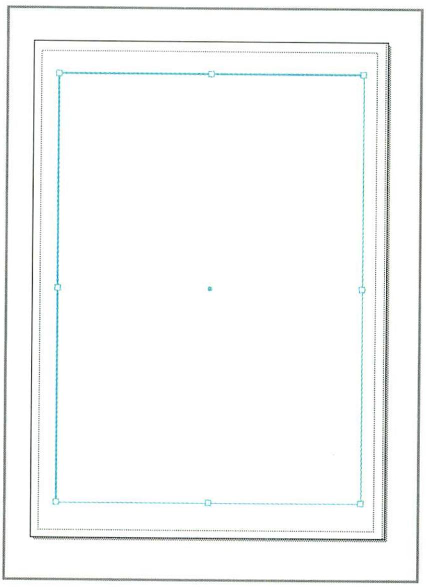
5 「レイヤーオプション」ダイアログボックスで「名前」に「トンボ」と入力します。



6 レイヤーパレットの一番上に「トンボ」というレイヤーができました。



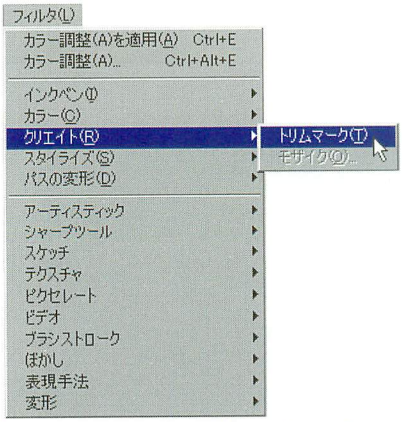
7 「編集」メニューから「前面へペースト」を選択します。



8 「トンボ」レイヤー以外のレイヤーをすべて非表示にすると、先ほどコピーした「バック」レイヤーの長方形がペーストされたのがわかります。画面が真っ白になってしまいましたが、地図や写真はこの白い長方形の下にちゃんとあります。



9 この長方形はあくまでもトンボを作成するためのものですから、ツールボックスで、塗りも線も「なし」にしてください。

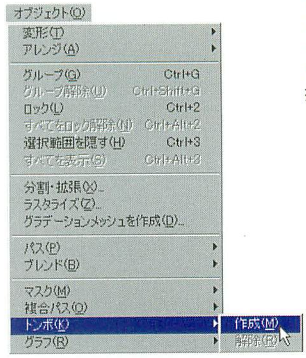


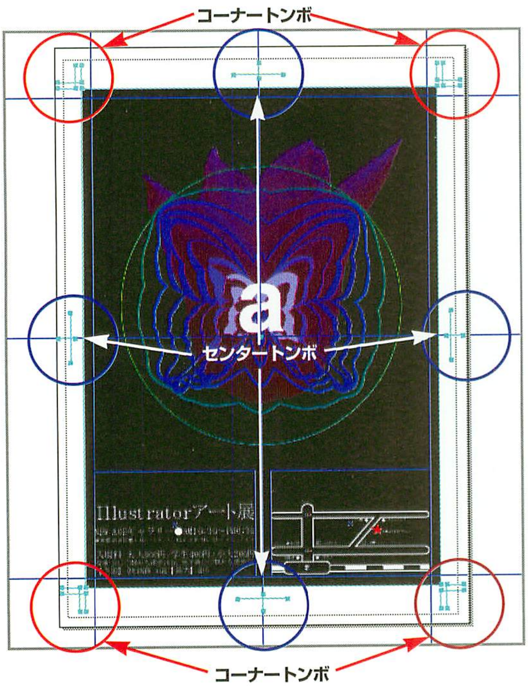
10 「フィルタ」メニューの「クリエイト」の「トリムマーク」を選択します。

☞ヒント!!

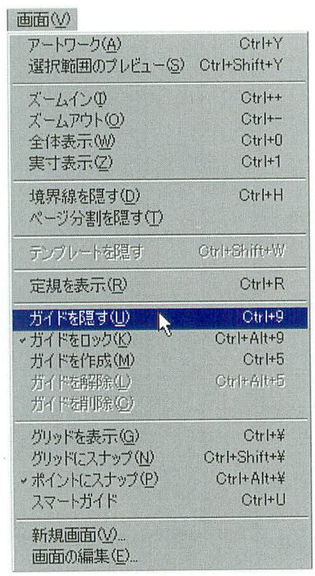
「オブジェクト」メニューの「トンボ」は？

「オブジェクト」メニューに「トンボ」コマンドがあります。でもこれはちょっと使いにくいのです。画面上に1つしかトンボを作れませんし、作成されたトンボを選択することができません。何かあったときのために、トンボを選択できた方がいいですからね。通常は、「フィルタ」メニューの「クリエイト」の「トリムマーク」を使ってください。

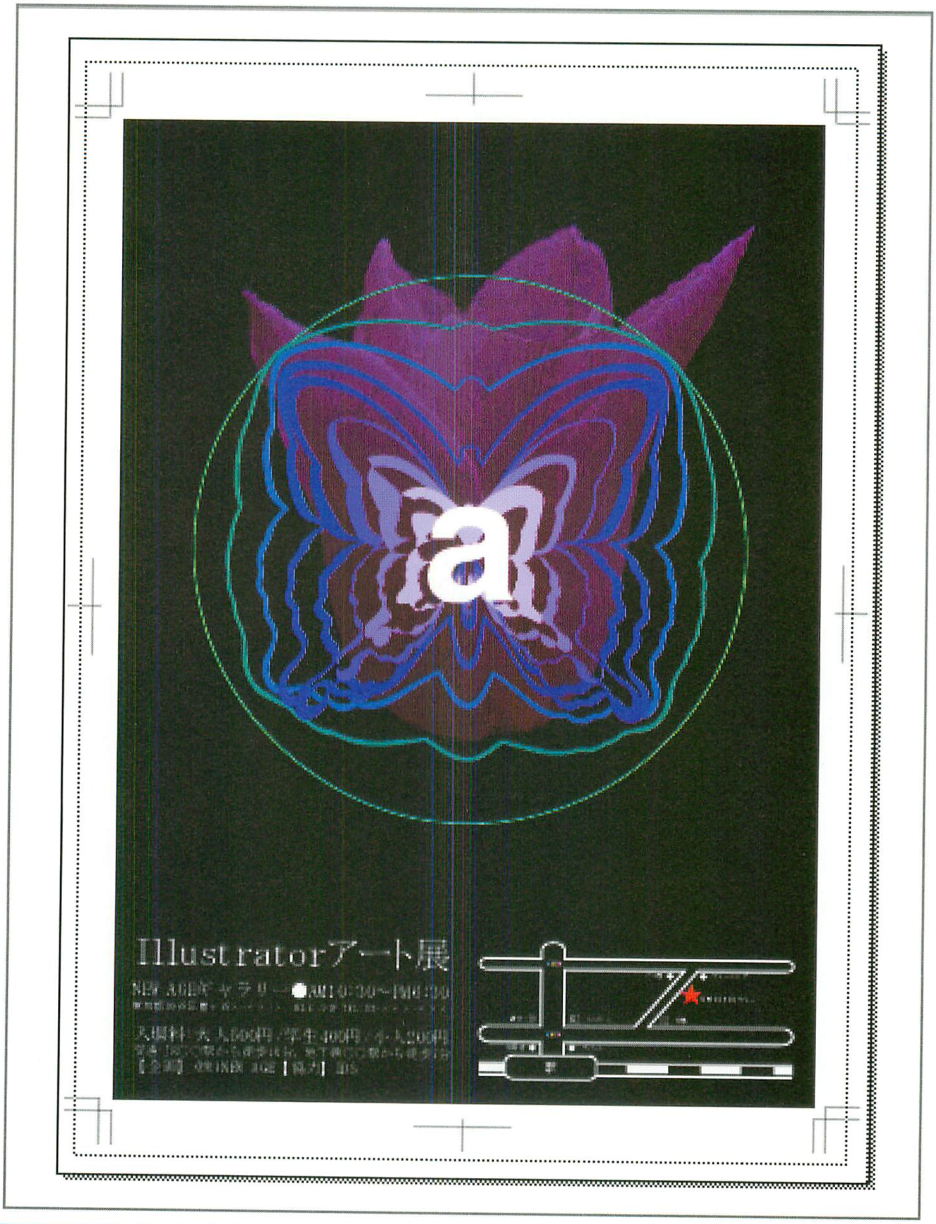




11 「トンボ」が付きました。四隅に表示されているトンボがコーナートンボ、上下左右の辺にあるのがセンタートンボです。



12 「画面」メニューの「ガイドを隠す」を選び、仕上がりの状態を確認してください。修正する必要がある部分は各自で直してください。



13 これで完成です。うまくいきましたか？　お疲れさまでした。ちらしはこれで終わりますので、「ファイル」メニューの「保存」で上書き保存してください。特別付録CD-ROMにも完成データを入れてありますので参考にしてください。